

令和5年度 学校評価結果報告書

桶川市立加納中学校

校長 相澤 仁志

目指す学校像 「一人一人が輝き 夢と誇りのもてる 爽やかな学校」

- (1) 明るい元気な挨拶を交わす和やかな学校
- (2) 生き生きと学びがあふれる学校
- (3) 歌声が響き、声高らかに校歌を歌える学校

学校運営協議会委員評価欄の記入については、[ A B C D ] のいずれかに○をつけていただきました。  
 (『 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない』)。

部	No	評価項目	評価指標	自己評価		学校運営協議会委員評価欄									
				評価	評価の理由・改善策										
1 組織・運営 (学校組織の活性化を推進する。)	1	「情報共有」と共通理解・共通行動	【各種会議や委員会、校務支援システム等を活用して情報を共有し、互いに協力し合いながら共通理解のもと職務に専念している。】	B	【評価の理由】 校務支援システムを活用しながら、情報を共有し、職務が進められている。 【改善策】 職員一人一人の『自覚』にかかっている。他人事と考えず、チームという意識で取り組む。	A	37.5%	B	62.5%	C	0%	D	0%	無回答	0%
	2	各分掌・特別委員会活動の活性化	【校務分掌の各主任を中心に分掌内で課題を共有し、前年度の反省を生かした計画を立てて実践している。】	B	【評価の理由】 主任を中心に、各担当と確認や打ち合わせを実施し、実践している。 【改善策】 定期的に分掌部会を実施し、主任一人に業務が偏ることなく、分掌部員がチームとして機能できるようにする。	A	37.5%	B	62.5%	C	0%	D	0%	無回答	0%
2 学習指導 (確かな学力を育成する。)	3	一人一人のニーズに応じた適切な教育の推進	【各生徒の到達度を把握し、それに応じた手立て、方策を考え、個別に対応するよう工夫している。】	B	【評価の理由】 小テストの実施や複数教員の情報共有をもとに、スタサプの活用、テスト前補習等を実施した。 【改善策】 スタサプの積極的な活用と補習の充実を努める。	A	37.5%	B	62.5%	C	0%	D	0%	無回答	0%
	4	学習規律が整い、安心して学べる雰囲気醸成	【学習の向上を目指し、生徒の実態に基づいて学習ルールを定めて、授業改善に努めている。】	B	【評価の理由】 「加中5か条」の徹底ができていない。学年、学級単位で指導にズレが生じた。 【改善策】 「加中5か条」の徹底による学習規律の定着を図る。	A	25%	B	75%	C	0%	D	0%	無回答	0%
	5	基礎・基本の確実な習得ができる指導の工夫	【わかりやすい授業を工夫し、基礎的・基本的な知識・技能の定着に努めている。】	A	【評価の理由】 各教科の授業において、様々な工夫、努力をしている。 【改善策】 今後も教材研究に務め、よりよい授業を展開していく。	A	87.5%	B	12.5%	C	0%	D	0%	無回答	0%

	6	主体的に学び合う活動の推進	【各教科等の指導では、主体的に学び合う活動を取り入れるように工夫している。】	B	【評価の理由】 ICTの活用により、相互の学び合い活動が充実している。 【改善策】 先進校授業見学等により、良い授業展開を積極的に取り入れる。	A 50 % B 50 % C 0% D 0% 無回答 0%
3 生徒指導・教育相談（生徒指導・教育相談を充実させ、いじめ・不登校の防止に努める。）	7	自己指導能力（自己存在感・共感的人間関係・自己決定）を育成する指導の推進	【各種アンケート結果を利用して生徒の実態把握をし、面談等を通して解決策を考えるようにしている。】	B	【評価の理由】 面談だけでなく、保護者にも伝え、家庭と連携して解決策を講じている。 【改善策】 アンケート実施後の流れを明確にし、共有する。	A 25 % B 75 % C 0% D 0% 無回答 0%
	8	いじめ・不登校解消及び未然防止に係る適切かつ迅速な対応	【職員相互の情報・意見交換の時間及び場を確保し、観察・声掛けを日々して、相談しやすい場の設定など積極的な教育相談を行い、いじめ報告30%減を目指す。】	B	【評価の理由】 教育相談委員会の適切な運営は良いが、さわやか相談室の休室に伴う相談体制の不備。 【改善策】 さわやか相談員の配置を要望していく。	A 12.5% B 87.5% C 0% D 0% 無回答 0%
	9	生徒指導委員会を中心とした組織的・積極的な取組の充実	【職員相互の情報・意見交換の時間及び場を確保し、それをもとに生徒一人一人についてきめ細かな対応を行い、保護者との連携も行っている。】	B	【評価の理由】 生徒指導委員会による情報共有、対応の協議は良かったが、指導を完結できていないこともあった。 【改善策】 教員一人一人の生徒指導力を向上させる。	A 12.5% B 87.5% C 0% D 0% 無回答 0%
	10	教育相談部会を中心とした組織的・積極的な取組の充実	【生徒の個性や状況を早期に把握し、適切な相談活動（「3日欠席→家庭訪問」「保護者との連携」）などの対応を行っている。】	B	【評価の理由】 電話連絡や家庭訪問において、教員の個人差が生じている。 【改善策】 欠席、不登校対応について、折に触れて、共通理解を図る。	A 12.5% B 87.5% C 0% D 0% 無回答 0%
4 健康教育（体力の向上と健康・安全教育を推進する。）	11	疾病予防の推進	【疾病予防と早期発見・早期治療を呼びかけている。】	B	【評価の理由】 感染症予防の注意喚起、検診後の治療勧告を適切に呼びかけた。 【改善策】 生徒主体で疾病予防や感染症予防に取り組めるよう保健委員を指導していく。	A 37.5% B 62.5% C 0% D 0% 無回答 0%
	12	活動時における安全指導と安全管理の充実	【施設設備の安全点検を実施するなどして、事故を未然に防ごうとしている。】	B	【評価の理由】 月に一度の安全点検実施後の集約、共有をスムーズにするとよい。 【改善策】 安全点検個所のローテーションを含め、点検個所を交換して行う。	A 37.5% B 62.5% C 0% D 0% 無回答 0%
	13	健康や交通安全の意識を高める指導の充実	【登下校や普段の交通安全の意識を高めたりしている。】	B	【評価の理由】 生徒の交通事故0件だが、登下校指導ができていない反省あり。 【改善策】 毎週木曜の立哨指導を生徒指導担当と協力して行う。	A 25 % B 75 % C 0% D 0% 無回答 0%

5 学習環境 (よりよい教育環境づくりを推進す)	14	ユニバーサルデザインの視点に基づく機能的・美的な掲示の充実	【機能的、美的な掲示教育を進め、校内に活気と潤いを持たせ、特に教室前面の掲示物の位置を統一し、ユニバーサルデザインの視点で教室掲示を行っている。】	B	【評価の理由】 教室前面の掲示物を避け、備え付けの棚等の整理整頓を心掛けている。 【改善策】 年度当初の資料に色弱の生徒が見えにくい色や組み合わせなどを掲載する。	A 37.5% B 62.5% C 0% D 0% 無回答 0%
	15	生徒が進んで学校美化に努める活動の推進	【清掃を全校生徒・全職員で一斉に行い、協働して学校美化を推進している。】	B	【評価の理由】 もくもく・すみずみ・ピカピカ清掃などで意識が高まっている反面、不十分な清掃場所もある。 【改善策】 年度当初のオリエンテーションで清掃担当からの時間を設け、共通理解を図る。	A 25% B 75% C 0% D 0% 無回答 0%
6 教職員の資質向上 (教職員一人一人の資質や指導)	16	計画的・組織的な職員研修の充実	【教職員が主体性を持って参加できる研修を設定し、計画的、組織的に指導力の向上に努めている。】	B	【評価の理由】 教職員の指導力向上に向けて、ニーズに合った研修を実施した。 【改善策】 学校課題研究2年目、見直しをもった研修を実施する。	A 25% B 75% C 0% D 0% 無回答 0%
	17	職員相互の尊敬・信頼にもとづく積極的なコミュニケーション・アドバイスの実践	【職員相互の尊敬・信頼・協力により、生き甲斐と張りのある明るい職場をつくっている。】	B	【評価の理由】 学年内で相談しやすい雰囲気があるが、教員間の協力と連携に課題もある。 【改善策】 困ったら声をあげられる雰囲気づくり、仕事の属人化を避け、共有する。	A 25% B 25% C 0% D 0% 無回答 0%
7 家庭・地域との連携 (地域の特徴を生かした特色ある教育活動を)	18	小中一貫教育を念頭においた校種間(小・中・高)連携教育の強化・推進	【授業見学や出前授業、小中連絡会、小中研修会、各種学校行事への児童生徒の参加等、積極的に小学校との連携を図っている。】	B	【評価の理由】 あいさつ運動の継続はできているが、コロナ禍の取組削減の影響はある。 【改善策】 取組の洗い出し、精選、リモートも含めた取組方法の検討を行う。	A 25% B 75% C 0% D 0% 無回答 0%
	19	積極的な情報発信と保護者・地域と連携した活動の充実	【各種たよりやHP、情報メール等で教育活動の様子を発信したり、積極的に学校を公開し、教職員が保護者や外部の人材と積極的に連携をとろうとしたりしている。】	A	【評価の理由】 情報メールを活用した電子での文書配付に変更した。また、ホームページを日々更新し、情報発信に努めた。 【改善策】 引き続き、学校からの情報発信に努める。	A 100% B 0% C 0% D 0% 無回答 0%

8 心の教育 (全教育活動を通して、 心豊かな生徒を育てる。)	20	自主的・実践的態度を育む学級活動・生徒会活動の充実	【望ましい集団生活の中で、一人一人が自主性や創造性を伸ばそうとする態度を育成している。】	B	【評価の理由】 安心できる集団作りや自主的に活躍できる場を設定している。 【改善策】 各種委員会ベースの取組を増やすことで生徒主体の活動を推進していく。	A 12.5% B 87.5% C 0% D 0% 無回答 0%
	21	道徳の時間を要とし、道徳的実践力を育む指導の充実	【全職員が内容項目を理解し、道徳的価値を念頭に置いた指導をし、生徒の変容を見取り、評価している。】	B	【評価の理由】 学年内ローテーションは、生徒、教員にも有効な手段。 【改善策】 ローテーション授業の際、空き教員は授業を見に行き、授業改善に努める。	A 25% B 75% C 0% D 0% 無回答 0%
	22	豊かな心と感性の育成を目指した体験活動の充実	【積極的に地域の人材を活用するなどして体験活動の充実を図っている。】	A	【評価の理由】 生活体験講座を4年ぶりに実施することができた。 【改善策】 行事の多い加納中だからこそ、行事の意義を教職員一人一人が意識して臨みたい。	A 75% B 25% C 0% D 0% 無回答 0%